

	一般的名称	報告の概要
359	硫酸マグネシウム・ブドウ糖	母胎に硫酸マグネシウムを投与した仔ラットで、新生仔の動脈管収縮は無投薬新生仔に比べ遅延し、仔ラットの動脈管開存症発生に関連することが示唆された。
360	硫酸マグネシウム・ブドウ糖	マグネシウム投与母体の超低出生体重児において、動脈管開存症(PDA)に対するインドメタシン投与率が高まることが示唆された。
361	レセルピン・塩酸ヒドララジン配合剤	4例の雌カニクイザルにヒドロクロチアジドを強制経口投与したところ、全例で血清カリウム低下が起こり、血清カリウム低値を保った2例については心室の多巣性心筋壊死や心電図変化が見られた。
362	オメプラゾール	プロトンポンプ阻害剤の使用により、市中肺炎発症リスクが上昇し、中でも使用開始直後はリスク上昇率が高いことが示唆された。
363	メトレキサート	移植前にウサギ抗胸腺細胞グロブリン処置を受けた骨髄移植を受けた悪性および非悪性疾患の小児70例の記録を精査したところ、6例が間質性肺炎を、5例がEBウイルス関連リンパ増殖性疾患を起こし、13例が死亡した。
364	エストロゲン〔結合型〕	閉経後、多年を経過した女性に対するホルモン補充療法は、心血管系障害や静脈塞栓症の発症リスクを高めることが示唆された。
365	メトレキサート	メトレキサートをベースとした化学療法の多施設Phase II 試験において、32例のうち、1例が発熱性好中球減少症で死亡した。
366	ホスフェストロール	マウスにおいて、胎仔期のホスフェストロール曝露により先天性尿道下裂の発症が起こる可能性が示唆された。
367	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(6)	登録時にがんと診断されていなかった男性295344例を対象としたプロスペクティブ研究において、週7回以上のマルチビタミンの過剰摂取者は非摂取者と比較して、進行性および致死性前立腺癌のリスクが増加した。
368	酢酸リュープロレリン	65歳以上の前立腺癌患者において、放射線療法(RA)にアンドロゲン抑制療法(AS T)を6ヶ月併用した場合、RT単独の患者と比べ致死的心筋梗塞の発症時期が早くなることが示唆された。
369	ブスルファン	前処置にフルダラビン、ブスルファン、シクロホスファミドを使用したHLAタイプ一致幹細胞移植を行なった難治性白血病患者35例を対象として長期間の生存について評価したところ、真菌感染症と中心静脈閉塞症でそれぞれ1例が死亡した。
370	ブスルファン	前処置にクラドリビン、ブスルファン、放射線照射を行なったHLAタイプ一致幹細胞移植を行なった血液疾患患者27例を対象としたプロスペクティブ多施設臨床試験において、グレード3以上の不整脈、低酸素血症、高トランスアミナーゼ血症が認められた。
371	アプロチニン	冠動脈バイパス術施行者78199例を対象として、病院データベースを利用したレトロスペクティブ調査を行ったところ、アミノカプロン酸投与群と比較してアプロチニン投与群で死亡、腎不全のリスクが増加することが示唆された。
372	人血清アルブミン	外傷性脳損傷患者蘇生の大規模二重盲検試験(SAFE Study)の追跡研究において、460例の患者を追跡したところ、アルブミンによる蘇生群の方が生理食塩液による蘇生群よりも死亡率が高かった。
373	メトレキサート	高用量メトレキサートを含む多剤化学療法を受けた小児T細胞性急性リンパ芽球性白血病患者53例を対象とした後ろ向き研究において、13例が死亡した。
374	ソマトロピン(遺伝子組換え)	週3回以上運動を行っている健康な成人男女それぞれ10名において、成長ホルモンを投与したところ、20例中8例で下痢が生じた。